

令和5年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立郷原中学校
(郷原中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+6.2	+3.0	+5.4
令和4年度	+4.0	+0.6	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

国語 本校 76.0 % 全国 69.8 % 県 70.0 % 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化	重点課題	◎ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。(設問3ー全国平均との差-2.2)【書くこと】(本校平均正答率 52.1%) ◇ 漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。
	改善の方策	◎ 文章を書かせ、その叙述について評価しあう活動を仕組む。叙述の正しさだけでなく、より適切な表現について考えさせる。 ◇ 文章の意味を考えて漢字を当てるよう指導する。同音異義語や同訓異字を使い分けたり、様々な場面で文章化する活動を行ったりする中で、語彙を増やし、適切に漢字を用いることができるように指導する。
	検証	◎ 全国学力(設問3ー)の類似問題(中学校第3学年11月) 目標 80%→結果 80% ◇ 標準学力学習状況調査(12月, 1月)の【知識及び技能】について、全学年の平均ポイントが昨年度より上回る。
数学 本校 54.0 % 全国 51.0 % 県 49.0 % 数と式 図形 関数 データの活用 空間	重点課題	◎ 空間における平面が1つに決まる条件についての理解に課題がある。(設問3 全国平均との差-15.8)【図形】(本校平均正答率 14.6%) ◇ 図形の意味や性質について理解することに課題がある。
	改善の方策	◎ 空間における平面が1つに決まる条件について、3点が同一直線上にある場合と、同一直線上にない場合を具体物を用いて捉える活動を設定する。 ◇ 図形の定義について丁寧に説明を行う。言葉の意味を正確に捉えることができるように、様々な言い方で説明し直す活動を日々行う。説明する時には数学的な用語を正確に使えるようにする。
	検証	◎ 全国学力(設問3)の類似問題(中学校第2学年2月) 目標 80%→結果 82% ◇ 標準学力学習状況調査(12月, 1月)の【図形】の項目の正答率の全国平均との差を-5%以内にする。
英語 本校 51.0 % 全国 45.6 % 県 43.0 % 聞くこと 読むこと 話すこと 書くこと 文と文の関係	重点課題	◎ 文と文との関係を正確に読み取ることに課題がある。(設問7(1) 全国平均との差-3.8)【読むこと】(本校平均正答率 58.3%) ◇ 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。
	改善の方策	◎ 文と文、段落と段落をつないでいる接続詞や語句の働きを確認させ、読解問題の中でどのように使われているかを確認しながら読み取らせる。 ◇ 自分の考えの概要を整理させた後に、文の構成を意識してつなぎ言葉を活用して、まとまりのある英文を書かせる。
	検証	◎ 全国学力(設問7(1))の類似問題(中学校第3学年, 12月) 目標 70%→結果 78% ◇ 学年末試験「書くこと」の領域において正答率 60%にする。(中学校全学年)

【来年度に向けて】

自分の考えを表現させる機会を多く設ける。考えの概要を整理させた後に、文の構成を意識させ、つなぎ言葉などを活用し、まとまりのある文を書かせる。その時に、叙述の正しさだけでなく、より適切な表現について考えさせる。